

# 未来☆管理栄養士



今年も行ってきました★

## 大学生活がグンと面白くなる、 1泊2日の新入生合宿研修!

金津創作の森で、  
ドキドキのアート体験。

ガラススタンプ、サンドブラスト、  
フォトスタンドの班に分かれてそれぞれ制作。  
みんなで楽しい思い出を作りました。



テーマ討論会の進行や  
しおり制作は、1年生が担当。

私は討論会の進行を担当しました。  
後日、「討論会、楽しかった」と  
みんなに言われてうれしかったです。



「北陸の町に住む幸福」をテーマに討論。

幸せを感じる部分に加え、不便な箇所も意見合いました。  
各班で「自分たちが望む町」としてキーワードをまとめる予定です。

夕食後は、1年生の様々な質問に3年生が回答。その後、3年生が各班に入り、個別に質問会を実施しました。とても盛り上がりましたね。2日目は、宿泊先から近い東尋坊を観光し、金津創作の森では創作体験をしました。友達が増え、頼れる先輩との交流もできる合宿研修は、楽しく大学生活を送るために不可欠だと思います。

去年は、「合宿後に学科全体が仲良くなった」という結果を聞いていたので、新潟県出身の私は当日が楽しみでした。初日、御誕生寺で講話を拝聴後、宿泊先である休暇村越前三国へ。地元が山奥の私にとっては、目前に海の広がる光景が新鮮で気持ちよかったです。宿泊先では、テーマ討論会に際し、普段、学科を分けているA・Bクラスを混合した上で全10班を構成。これまでしゃべったことのない同級生とも顔を合わせ交流できました。

健康栄養学科1年  
若山萌子  
二十日町総合高校出身

不安や悩みが  
晴れただけでなく、  
友達がふえて、先輩と  
交流もできました。



私も参加  
しました!



## 健康栄養学科の なるほど講義 基礎栄養学実験

食べ物がどうやって利用されていくのか、  
生命現象の仕組みについて  
実験を通して学びます。

## 栄養素の働きを、 「納得」から「理解」に。

### ●今回の講義

## タンパク質の定量方法

身近な食品である牛乳と豆乳を試料として、タンパク質の濃度を測定します。これまで栄養素に含まれる成分や特別な構造について調べる「定性実験」を行ってきた学生たちにとっては、物質の量を数値で求める「定量実験」は初めての体験です。色素がタンパク質と結合する際の吸光度を測定する“ブラッドフォード法”を用いて、呈色濃度と吸光度の関係、分光光度計の使い方を学びます。

▶色素の濃さでタンパク質の量を確認していきます。



▼分光光度計を操作して、吸光度をチェックします。



▲量を正確に測定する「秤量器具」の扱いも、定量実験では重要なポイントです。



◀吸光度をもとに、牛乳・豆乳に含まれるタンパク質濃度を計算で求めます。実験がうまくできると成分表示に近い値に!!

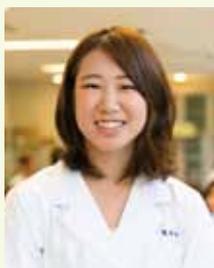


### 「基礎栄養学実験」で学ぶコト

#### 池田涼子 准教授

五大栄養素の定性・定量実験を通して、栄養素の化学的な構造や、消化の過程について、経験に基づいた理解を深める授業です。また、栄養学の科学的根拠の証明に欠かせない実験方法の基礎を習得することも目的としています。学んだ理論は、経験を通して納得に変わり、様々な専門科目を学ぶための応用力へ結び付けていきます。

## ＼おしえて!／先輩のおすすめポイント



### 反応すること 自体が面白い。

これまで実験の経験が少ないので、想定通りの反応が起きると自分が新鮮で面白いです。座学で学んだ内容を、体感することで深く理解できる実感があります。

健康栄養学科1年 黒田志織 | 武生高校出身 |



### レポート制作が もたらす効果。

実験は次第に慣れましたが、未だに苦戦しているのがレポート。ただ、レポートの考察を考える上で原理を確認し直すおかげで内容をしっかりと把握することができます。

健康栄養学科1年 中島奏 | 南砺福野高校出身 |



### 柔軟な知識で 夢を叶えたい。

将来の夢は、スポーツ選手を栄養面で支援することです。栄養についての知識と応用力を身に付けることで、的確にサポートできるようにになりたいですね。

健康栄養学科1年 三橋智也 | 北陸高校出身 |